

氏名	市川幸延
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙 第1064号
学位授与の日付	昭和54年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	ヒツジ赤血球を標的細胞とするヒト末梢白血球の Antibody - Dependent Cell - Mediated Cytotoxicity (ADCC) 第1編 Frythrophagocytosis を中心とした基礎的検討 第2編 Sjögren 症候群ならびに慢性関節リウマチ患者白血球の ADCC 活性と Erythrophagocytosis
論文審査委員	教授 大藤 眞 教授 妹尾左知丸 教授 長島 秀夫

学位論文内容の要旨

^{51}Cr 標識ヒツジ赤血球 (SRBC) を標的細胞とし、ウサギ抗 SRBC 抗体を介したヒト末梢白血球の antibody - dependent cell - mediated cytotoxicity (ADCC) assay 法に関して erythrophagocytosis (Ep) 現象を含めて諸条件の基礎的検討を加え、さらにこの assay 法を応用して Sjögren 症候群 (SjS) および慢性関節リウマチ (RA) 患者白血球の Fc レセプター (FcR) 機能を検討した。この assay 系ではリンパ球のみが Ep を介さない狭義の ADCC を発揮し、一方 phagocyte は急速な FcR を介する Ep を発現するが、貧食した標的赤血球の放出に関して顆粒球と単球は明らかに異なる time course を示すことからこの2つの phagocyte の機能を区別することができた。また、リンパ球や phagocyte の FcR 機能はいずれも IgG 抗体を介しており、抗体濃度では単球の FcR 機能が最も低い濃度で検出でき、これに次いでリンパ球、顆粒球の FcR 機能の順に検出できた。SjS 患者リンパ球の ADCC 活性は一部の症例で低値を示したが平均値としては健常人との間に有意差は認められなかった。しかし、単球の FcR を介する Ep 活性は SjS 患者で有意に低下しており RA 患者にも同様の障害が示唆された。

論文審査の結果の要旨

本研究は末梢白血球の抗体依存性細胞性組織障害 (ADCC) について実験的ならびに臨床的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった赤血球貧食と ADCC との関係およびその臨床応用について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。